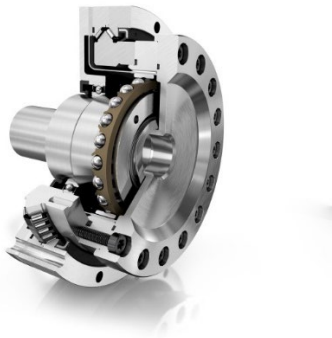


シエフラーがハノーバーメッセ 2022、ホール 6、ブース C48 に出展

高トルク及び標準トルクアプリケーション用精密波動歯車装置

- 2種類の波動歯車シリーズでより幅広い用途への使用が可能
- RT1 シリーズはよりコンパクト設計の多関節アームで平均以上の負荷に対応
- RT2 シリーズは広範囲なバリエーションを持ち、カスタマーデザインへの統合が容易

Schweinfurt | 2022 年 04 月 06 日 | シエフラーはロボティクス・ポートフォリオにおける精密波動歯車装置の適用範囲をさらに拡大しました。現在、高トルク向けの RT1 シリーズと、標準トルクアプリケーション向けの RT2 シリーズの 2 シリーズの軽量ロボット向け製品を提供しています。RT2 シリーズの波動歯車装置は標準コボットアプリケーションの約 80 パーセントに対応しており、現在展開しているサイズは 14 から 32 の 5 サイズ、ギア減速比は 50 から 160 の 5 種類があり、中空シャフトを備えたものや、モーターシャフトに直接取り付けるもの、シールによる密閉ユニット仕様や 1 つのコンポーネントセット仕様といったバリエーションがあります。RT1 シリーズの装置は現在 14 から 32 の 4 サイズ、減速比は 100 と 160 で展開されており、トルクは 25 Nm から約 900 Nm です。RT1 シリーズの波動歯車装置は高いトルク密度を持ち、とりわけコンパクトな多関節アームで平均以上の負荷に対応することができます。この軽量かつコンパクトな設計はコボット向け歯車装置として理想的です。バックラッシュフリーで耐摩耗性を持つ歯車が、耐用寿命全体にわたって卓越した位置精度を保証します。両シリーズで、XZU 複列アンギュラコンタクトニードルベアリングの高い傾斜剛性がコボット構造の剛性を大いに向上させます。



現在、高トルク向け RT1 シリーズの精密波動歯車装置は 14 から 32 の 4 サイズ、減速比は 100 と 160、トルクは 25 Nm から約 900 Nm で展開されています。



現在、標準トルク向け RT2 シリーズの精密波動歯車装置は 14 から 32 の 5 サイズ、減速比は 50 から 160 の 5 種類で、中空シャフト付き、モーターシャフトへの直接取り付け、シールによる密閉ユニット仕様や1つのコンポーネントセット仕様といったバリエーションがあります。

シェフラーグループ – We pioneer motion シェフラーグループは自動車および産業機械分野における世界的なリーディングサプライヤーとして、75年以上にわたり、モーショントとモビリティの分野において画期的な発明や開発を行ってきました。電動モビリティ、CO₂効率に優れたドライブシステム、インダストリー4.0、デジタル化、そして再生可能エネルギーなどのための革新的なテクノロジーや製品及びサービスの提供において、当社はモーショントとモビリティをより効率的でインテリジェントかつ持続可能なものにするための信頼されるパートナーです。また当社はパワートレインやシャシー用の高精度コンポーネントやシステム、多くの産業機械用の転がり軸受や滑り軸受のソリューションを開発・製造している技術会社です。シェフラーグループは2021年には約139億ユーロを売上げました。約83,000人の従業員を擁するシェフラーは世界最大級のファミリーカンパニーです。また、シェフラーは2021年には1,800件以上の特許出願を行っており、DPMA(ドイツ特許商標庁)によればドイツで3番目に革新的な企業です。

連絡先

シェフラージャパン広報部 ジュディアン・ゴ

TEL: +81 45-287-9151

E-mail: pr-japan@schaeffler.com

